



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Shozo Tsuzuki 4-18, Kurekawa-cho, Ashiya, Hyogo
 Mail : syouzou-tsuzuki@kcc.zaq.ne.jp Phone : 0797-31-1447 659-0051, JAPAN
 URL : <http://www.kobeymca.org/ys/ashiya/>

主 題

国際協会会長 「とにかくやろうー成せば成る」
 Finn A Pederseon "To dare is to do"
 アジア地域会長 「とにかくやろうー成せば成る」
 Wichian Boonmapajorn "To dare is to do"
 西日本区理事 「ワイズの原点 愛と奉仕で社会に貢献」
 浅岡 徹夫 "Contribute to the Community
 through Active Service with Love"
 六甲部部长 「伝統を守りつつ、若返りを図ろう」
 森 紘一
 芦屋クラブ会長 「あなたがたは地の塩である」
 都筑 省三 "You are like salt for all mankind"

会 長 都筑省三
 直前会長 桑野友子
 副 会 長 堤 清 島田 恒
 書 記 堀江哲次 柏原佳子
 会 計 羽太英樹 堤 清
 監 事 上野恭男 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六甲部 Y サ・ユース事業主査 桑野友子

1 2

Dec. 2011
 第 175 号

今月の聖句

「それは、『わたしは、エジプトからわたしの子を呼び出した』
 と、主が預言者を通して言われていたことが実現するため
 あった。 マタイ福音書 2:15

見えないものの価値

島田 恒

ブータン国王夫妻が新婚旅行を兼ねてわが国を訪問され、国会での演説、東北被災地激励などが大きく報道されました。ハンサム・美女のカップルを見ようと、国会議員の出席率も高かったそうですが、ブータンが注目されているのは、GDP(国内総生産)に代えて GNH(国民総幸福)を目指すべき指標にしようという前国王の提唱です。グローバルな経済至上主義が限界を露呈しているなかで、見えないものの価値を重要視する指標です。

ワイズが奉仕をしている YMCA は、1844 年ロンドンで生まれました。産業革命下、厳しい階級格差のなかで、ジョージ・ウィリアムズ達は、不健全な生活に浸りがちであった青年労働者のために聖書研究や祈りを活動の中核としてスタートしました。過酷な労働条件に苦しむ青年の労働条件改善などにも成果を上げましたが、信仰や共同体の発展など、目に見えない価値が YMCA 創立の礎石になっていたことを思います。

折からクリスマスを迎えています。この世に降り立たれたイエスは、見えないものの価値を示されました。ワイズは、見えないものの価値を大切にする使命を覚えたいと思います。そして、それに共感する仲間を増やし、共同体としての拡がりを実現したいと思います。そのことにより、自分の人生もまた豊かになることをわれわれは知っているからです。

12月クリスマス祝会プログラム

と き: 2011年12月23日(金) 18:00~21:00
 と ころ: ホテル竹園芦屋 3階
 司 会: 福原吉孝 (敬称略)
 受 付: 島田 恒・堤 清・中野雅弘・桑野友子・渡辺倫子
 開会点鐘 都筑省三会長
 クラブソング斉唱 一同
 第1部 礼拝
 讃美歌「もろびとこぞりて」 一同
 聖句朗読 羽太英樹
 祈祷 加輪上敏彦
 奨励「この闇の世に」 築山泰三牧師
 賛美歌「あれ野のはてに」 女性一同
 祝 禱 築山泰三牧師
 第2部 ミュージックアワー 矢頭 亜紗巳トリオ
 演奏曲目 Christmas Song, Star Dust, Fly Me To The Moon...
 第3部 会食・歓談
 食前感謝 水野YMCA総主事
 乾杯 森紘一六甲部部长
 会食・歓談 ゲスト・クラブ紹介
 挨拶 山中芦屋市長
 第4部 パラダイスアワー
 マジックショウ 中路喜臣氏
 オークション 飯田次期六甲部部长
 ダンスタイム 矢頭 亜紗巳トリオ
 YMCAへ献金贈呈 都筑会長
 YMCAの歌 一同
 「きよしこの夜」 一同
 閉会挨拶 島田副会長
 閉会点鐘 都筑会長

11月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率	BF切手 (累計)
メンバー	15名	出席者 15名	0gm (28gm)
ビジター	0名	メイキャップ 1名	
ゲスト	0名	合 計 16名	
メネット	0名	在籍者 17名	ニコニコ (累計)
合 計	15名	(内広義会員1名)	14,455 円 (96,331 円)
		出席率100%	

11月第1例会報告

渡辺 倫子

日時：11月16日(水)19時～21時

場所：ブルーミン・メドー

司会：渡辺倫子 (敬称略)

出席者：飯田、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、島田、都筑、堤、羽太、福原、堀江、渡辺、藤田連絡主事

渡辺オメット、中野雅弘(ゲストスピーカー)

本日の例会は3時からの研修会、YMCA東北大地震復興支援報告に続いて、ブルーミンメドーにて開催された。都筑会長のびしっと貫禄のある開会のお言葉でスタートした。伴奏なしで高らかにクラブソング「いざ立て」を斉唱し、食前の祈りと共に和のお弁当に舌鼓をうちながら歓談の時は流れた。



(中野雅弘メソンのスピーチ)

本日のスピーチはクラブメンバーであり、大阪産業大学工学部教授の中野雅弘先生による「人にやさしい町づくりー景観などー」と題しての講義であった。行政レベルで取り組む都市構造のとらえ方と、これからの町づくりについての指針となるべき内容で、プロジェクターを通して非常にわかりやすく解説していただき、なるほど、なるほどと勉強になった。都市のあり方に対する自分の意識が少しレベルアップしたように感じた。これからの都市は人と環境に優しい町づくりをめざさなくてはならない。そのためにはどんな取り組みがあるか。高度経済成長と共に人口が集中拡大した都市がかかえる問題として、地球規模での環境の変化や自然災害の連鎖に如何に対応するかという困難にぶち当たっている。環境に対応しつつ、安全で安心な生活が確保できる町づくりをするには、法的な面から、技術的な面から、また我々社会活動の面からさまざまな多様性の関わりの中で取り組んで行かねばならない。その取り組みへの支援として制定された法律「景観緑三法」について詳しく説明された。

専門的な法令については解らないが、身近な問題として昨今、頻発している自転車による事故などをみると、町づくりの大切さ、難しさを考えざるを得ない。日本各地の、また欧米各都市の景観、町並みの事例を写真でたくさん紹介された。最後に芦屋市は日本の中でも、かなり先行した取り組みを行っている都市であると評価された。

続いて議事報告が承認され、特にクリスマス準備会からメネットとゲストの参加呼びかけと、オークションの品物の出品依頼があった。またじゃがいもファンドは96箱のジャガイモ、6箱のカボチャの売上で計47,152円の収益が報告された。クリスマス例会への期待をふくらませて閉会となった。 渡辺 倫子

今年のチャリティーラン

桑野 友子

昨年までのチャリティーランではチヂミの準備と販売、一寸ランナーを応援して、ラッフルが当たればいいな！等と気楽に楽しんでいましたが、今年は六甲部のYサ主査として準備段階から少し関与することとなり何回かのチャリティーラン実行委員会と協賛委員会に参加しました。

神戸YMCAのチャリティーランは「晴れの得意日の11月3日」「神戸しあわせの村」と日時・場所が決まっており、第14回ともなれば十分のノウハウが蓄積され、協賛企業も定着、印刷物やランナーの受付等もスムーズに運営されているように思いました。協賛委員としての仕事はランナーの上位入賞者への賞品とラッフル券抽選会の賞品の割り振りです。お馴染みの「今年もキャセイで行きま賞」の香港への航空券やホテル宿泊券、「仲良く食事しま賞」のお食事券(ホテル竹園芦屋提供他)、神戸のメーカーのお菓子の詰合せやドリンクセット等々、ネーミングもなかなか楽しく組み合わせも順調に捗りました。エレガンス賞は勿論ジェム・パール・ツツミ提供の真珠ネックレス、毎年好評だとの事です。

当日は芦屋クラブのチヂミは皆様にお任せしてもっぱらラッフル券のセットや販売に専念、精力的にお願いした結果、完売との事で協賛委員からも随分喜ばれました。もう1つの仕事はコスチューム賞とパフォーマンス賞の選定です。

真剣に走るタイムレースのランナーとは別にコスチュームやパフォーマンスを楽しむグループの参加も多く、その中から「これは！」と思う人を選ぶのです。



(熱心に賞選定のメモ中の桑野Yサ主査)

コスチュームと言えば柏原ウイメンです。彼女に手伝ってもらって多くの中から本当にセンスのよいファミリーをコスチューム賞に、また夫々に工夫を凝らしたパフォーマンスを見せたグループをパフォーマンス賞に選ぶ事が出来ました。可愛らしい「なでしこジャパン」のグループもいて、やはり「時の人」でした。

暑くもなく寒くもなくの秋晴れの下、ワイズ各クラブ出店のB級グルメでお腹を満ち、楽しく健康な1日を過ごす事が出来ました。ランナーの参加費や企業やワイズメンの寄付金、出店の売上等、多くの協力を得て今年もこれらの収益金が「心身に障がいのある人たちのために」「被災地の障がいのある子どもたちの笑顔のために」役立つことになるでしょう。本当に有難うございました。

チャリティランに参加して

加輪上敏彦

11月3日、好天に恵まれ、また大変暖かく、体育会日和でした。子供たち、また若者、あるいは障がいを持たれた方たちが、実に楽しそうに、走っておられました。

また、それを応援するご家族、我々のように売店を出して楽しんでいるグループなど、見物されている人も多く、このプログラムがすっかり定着したように思えます。一般的に、多くの催事が人集めに苦労している中、神戸 YMCA が主催のこのプログラム、今後とも応援して行かねばならないと、一層思われました。また来年も、協力して一緒にやりましょう。

研修会を開催しました

上野恭男

2011年11月16日(水)15時～18時50分
ブルー - ミンメドウにて



(上野恭男初代会長の講話)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 開講の挨拶 | 都筑省三会長 |
| 2. YMCA とワイズの役割 | 島田恒次期会長 |
| 3. 西日本区と7つの事業について | 上野恭男初代会長 |
| 4. 西日本区の中で六甲部の役割 | 飯田義雄次期六甲部
部長 |
| 5. ワイズメンズクラブ・いまむかし | 柏原佳子書記 |
| 6. 芦屋クラブの事業について | 桑野友子直前会長 |
| 7. 模範的な例会の例を見る | 西日本区作成 DVD |
| 8. 芦屋クラブ HP を考える | 上野恭男初代会長 |

9. 東日本大震災ボランティア報告 YMCAリーダー・スタッフ

10. 総括と閉講の挨拶 島田恒次期会長

研修会はプログラム通りに進行し、例会の始まる直前に無事終了しました。YMCAの坂本孝司スタッフとリーダーの西崎由莉さん、東川愛さんの震災の現地レポートはリアルで全員が聞き入りました。

毎年開催される研修会ですが、今年はブルー - ミンメドウを会場として行われました。コーヒブレイクにはおいしいコーヒが用意され渡辺ウイメンの心配りに感謝します。

芦屋クラブ研修会報告

井上 雅司

本年度の研修会は渡辺ウイメンとご主人のご配慮により会場をブルーミンメドウさんで 11月16日(水)、第1例会に先立って15時から17時50分まで開催されました。都筑会長の開会挨拶の後、7つのテーマについて芦屋クラブ歴代の会長並びに次期会長がそれぞれ20分という短い時間で講話をされました。短時間の講話ではありましたがレジメにそった非常にわかりやすい説明で、以下その内容についてご報告致します。



(井上メンの司会による芦屋クラブ研修会)

1. YMCAとワイズの役割 島田恒次期会長
YMCAとワイズの歴史とその役割、今後のワイズメンズクラブの課題について発表されました。
今後の課題は、1)YMCAとの関連を基点に活動を強化。そのためにYMCAのミッション理解を深め、現代社会のニーズと一体化した協力とキャンプ活動の強化を進める。
2)ワイズメンとしてのボランティア活動が社会に貢献するものであることと同時に、自らの居場所・生きがいにつながる実感をもてるようなコミュニティをつくり仲間を広げてゆく。
3)芦屋クラブとしては、当地にYMCA活動そのものを誘致し、支援する事業を模索すること。
2. 西日本区の7つの事業について 上野恭男元六甲部部長、元会長
ロースター、レジメに基づいてワイズの役割、特に7つの事業について主任の役割の重要性を強調。
3. 西日本区の中で六甲部の役割 飯田義雄次期六甲部

部長、元会長

5年間でウィズの仲間を西日本区2,000人に広げる目標達成の期限をまもなく迎え、現在「エクステンションチーム」で検討を進めている。

4、ウィズメンズクラブ・いまむかし 柏原佳子元会長

ウィズメンズクラブの名前の由来と日本における歴史、柏原ウイメンの芦屋クラブ入会までのウィズの歴史とそれぞれのクラブの特色を述べ、レジメで「心当たりはありませんか?…」ウィズを楽しく活動するために警鐘となる10ヶ条を示された。

5、芦屋クラブの事業について 桑野友子直前会長

芦屋クラブの7つの事業と独自の活動について発表。春節に合せたYMCA語学留学生交流会の開催、芦屋みどり福祉作業所への継続支援、芦屋川さくら祭りでの「チジミ」「綿菓子」の出店などを紹介。

6、模範的な例会の例を見る 上野恭男元六甲部部长、元会長

西日本区作成のDVDを紹介。芦屋クラブの例会と基本的に変わらないが、異なる部分もあり今後の検討課題となると思います。

7、芦屋クラブのホームページを考える 上野恭男元六甲部部长、元会長

芦屋クラブのHPは過去に作成され、その後更新されているのは「ブリテン」のみで、昨年作成の「トラクト」との整合性が無く、今後、プロジェクトチームを結成検討することにした。

以上研修報告ですが、この後、約1時間、東日本大震災のボランティアに参加した神戸YMCAのスタッフ坂本さんとリーダー西崎さんから活動報告があり、併せてYMCAの研修に参加した東川さんより研修報告がありました。



(東日本大震災ボランティア報告:YMCAリーダー・スタッフ) 総括と閉講の挨拶 島田恒次期会長 本日の研修を締めるに当たり、島田次期会長より総括ならびに閉講の挨拶がなされました。

チャリティーラン

11月3日(祝・木)に第14回チャリティーランがしあわせの村において開催され、ランナー、ボランティア、観衆を含めて約2500名の方々が来場されました。天候に恵まれ、多くの出会いや交わりがあり、笑顔があふれる大会となりました。今年もウィズメンズクラブとリーダー会の皆さん、実行委員の皆さんが大きな役割を果たしてください、ご奉仕くださって大会を成功に導いてくださったことに改めて感謝いたします。

第27回午餐会、開催

11月26日(土)に、今年度2回目の午餐会が開催され、39名の方々が出席され、楽しく有意義な午後を過ごすことができました。(芦屋クラブより柏原、桑野ウイメンが出席。)今回は「国民総幸福」を追求する国(ブータン)をテーマに、JICAのシニアボランティアとして2年間をブータンで過ごされた奈良昭彦さんをお招きし、ブータンの国情や文化、課題、また「国民総幸福」の意味するところをお話いただきました。

東日本大震災支援活動関連

東日本への支援活動が断続的に継続されています。11月21日(月)~22日(火)に、小澤昌甲さん(西神戸YMCA保育園)、坂本孝司さん(西神戸ランチ)、阪田晃一さん(余島センター)が仙台YMCAなどを訪問し、今後の支援活動について協議と視察を行いました。その協議を基にして冬から春に向けての計画が進められていきます。

神戸YMCA今後の予定

125周年記念音楽イベント

「音楽と祈り ~あなたとともに~」

神戸YMCA125周年記念イベントのエンディングとして企画されたプログラムです。どうぞご予定いただいて、ご参加くださいますようお願いいたします。

日時:1月7日(土)午後2:00~3:30

場所:東灘区区民センター うはらホール

ユースプラザKOBEEASTの今後の予定

第30回ユースプラザKOBEEASTフリーマーケット

日時:1月21日(土)11:00~16:00

場所:ユースプラザKOBEEAST(御影クラッセ4F)

編集後記:

2011年もあとわずかとなりました。日本が経済だけでなく、心豊かな「国民総幸福」となる国に、着実に進んでいくことを願っています。クリスマス祝いに感謝し、またこの平和な日本で過ごせることに感謝して健康で新年を迎えられることを祈ります。

堀江哲次